

三月ジェット決戦の成果ひきつぎ 5/23 狭山中央闘争に決起！



日刊 動労千葉

81. 5.27

No. 749

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八(動力車会館)
(電話)二九三五〜六(公衆電話)227七二〇七

首都・東京に狭山・三里塚闘争勝利の声響く

五月二三日一四時より、部落解放同盟、中央共闘主催の石川一雄氏不当逮捕一八ヶ年糾弾狭山中央総決起集会が明治公園で開催された。動労千葉は、解放同盟千葉県連合会・千葉県労連の参加要請にこたえて青年部を中心にした七〇名の動員者をもって参加した。集会開始から四谷コースのデモを解放同盟千葉県連・茨城県連の仲間との連帯した行動をもって闘いぬぎ、四谷駅前での総括集会では、石川一雄氏不当逮捕一八ヶ年糾弾、二・七再審棄却糾弾、三・二五異議申棄却糾弾、再審貫徹・抗告審闘争勝利まで闘いぬぐことを誓いあった。

狭山・三里塚の結合こそ勝利の道

今回の五・二三闘争は極めて重要な闘いであった。

解放同盟が固い決意をもって「東京高裁は、さる三月二五日同志石川一雄氏に対し再審異議申し立てを却下した。わが同盟は三月三〇日に最高裁に対し特別抗告を行ない、この五月〜八月反差別・反権力・反軍事大國化のたたかいとして狭山の高揚を実現すべくその出発点として五・二三闘争をたたかう」と労働者人民に呼びかけを発した。

動労千葉は、この解放同盟の腹の底からの呼びかけ、とりわけ獄中一八年無実の石川一雄氏の血叫びにこたえて決起したのである。

わが動労千葉は、五・二三闘争に決起するにあたって三・二五異議申棄却攻撃の本質がオ一に軍事大國化―改憲攻撃をもって侵略と反動の道へつき進む日本帝國主義の全体重をかけた攻撃であること。オ二に侵略へむけた国民総動員体制構築へむけた部落差別―人民分断支配の激化、とりわけ日帝による部落政策の反動的転換をはかる画歴史的攻撃である。それは、八二年特措法うち切りをもって戦後の部落支配の転換を行い、

他方で狭山闘争を圧殺し狭山・三里塚の結合を破壊し八〇年代階級闘争を圧殺せんとするものである。それゆえに、三・二五異議申棄却の闘いを、軍事大國化―改憲攻撃粉碎の闘いの一環に位置づけ軍事大國化攻撃の要である三里塚二期阻止の闘いと結合して闘うことこそ勝利の道であることを確信し五・二三狭山に決起し、五・二四三里塚へとひきついで決起したのである。

関東地評動員で僅か百名弱の動労「本部」

この日、動労「本部」反動分子は、「狭山と水本事件は同じ権力犯罪だ」との声もあげることでもできずに会場の片隅にひとかたまりになつてうなだれていた。「水本デマ運動」の九州世話人又我美陽なる人物が権力のスパイであることが暴露された今日、動労組合員は完全にしらけさつてしまい動員の激減となつて、表われたのである。

この見るも無残な「本部」反動分子に比して動労千葉の動員部隊は、三月ジェット決戦貫徹の意気高く解放同盟とともに狭山・三里塚の結合こそ勝利の道すじであることを確認しあい、都内デモを権力の弾圧をはねとばし闘いとり、再び五・二四三里塚で再会することを期して解散した。

6.6改憲阻止10万人集会に総結集

全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよ！